

学会記事

第3回研究報告全国大会

第3回研究報告大会は1982年11月6～7両日、神戸大学で開催された。今回の特徴は共通論題として「日米欧三極関係」をおき、現在一番脚光をあびている貿易摩擦を中心に、その他、法律や政治・軍事問題についての報告があった。EC委員会からの特別講演もファン・ライ氏の“Reflections on a Triangle”であり、共通論題とかみ合うものであった。討論も貿易摩擦の問題が中心となったが、仲々解決のむずかしい、政治的にも、経済の理論的面上においても今後の一層の深化が必要とされることが痛感された。本大会の報告のプログラムは以下の通りである。

なお丸山繁郎会員、岩島久夫会員、南義清会員の報告は、それぞれ独特な報告であったが、主として御本人の都合により、本誌に掲載できなかった。

《プログラム》

第1日(11月6日)

午前の部

〈自由論題〉

司会者 岡本善八(同志社大学)

- (1) 英国における性差別問題とヨーロッパ共同体法

釜田泰介(同志社大学)

司会者 田中俊郎(慶應義塾大学)

- (2) EECのエネルギー政策とACPへのエネルギー援助について

丸山繁郎(芝浦工業大学)

午後の部

- (3) わが国の対欧直接投資の諸問題

司会者 清水貞俊(立命館大学)

箱木真澄(福島大学)

——日欧経済摩擦と関連して——

〈共通論題〉(日米欧三極関係)

司会者 金子 晃(慶應義塾大学)

- (1) 日米欧通商摩擦の法律問題

小原喜雄(神戸大学)

司会者 清水貞俊

- (2) 日米欧三極間貿易構造の実証的分析

奥村茂次(大阪市立大学)

第2日(11月7日)

午前の部

〈共通論題つづき〉

司会者 中原喜一郎(東海大学)

- (3) 安全保障の側面から見た日米関係と米欧関係

——日米安保とNATOの対比——

岩島久夫(防衛研修所)

- (4) 日欧経済摩擦に関する一考察

南 義清(信州大学)

午後の部

司会者 野村昭夫(福岡大学)

- (5) Reflections on a Triangle

ファン・ライ(駐日EC委員会)

- (6) 日欧貿易摩擦と主要産業の競争力格差について

出水宏一(関東学院大学)

- (7) 全体討論

(なお、所属は学会報告当日のもの)

海外の学会および大学との交流

日本EC学会では、海外のEC関連学会および大学との間で相互の交流を深めるために、研究大会等の情報および機関誌の交換を開始しました。下記のリストは、『日本EC学会年報』をお送りし、交流の回答をいただいた諸機関です。会員皆様のご留学、ご出張の際にお役立て下さい。先方から研究大会の案内や機関誌が送られてきておりますので、必要な方は事務局までご連絡下さい。

今回は本機関誌に対し、イタリアのトリノ大学のヨーロッパ研究所からアンドレア・コンバ教授(Prof. Andrea Comba, Istituto Universitario di Studi Europei, Torino)の投稿を得ました。ここに併記して謝意を表します。